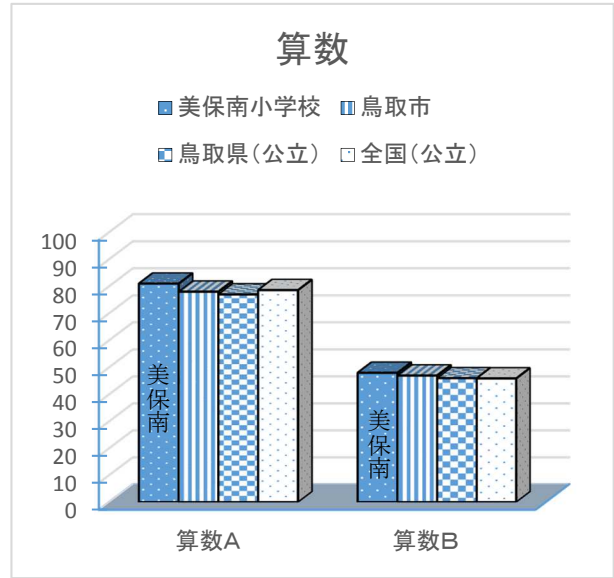
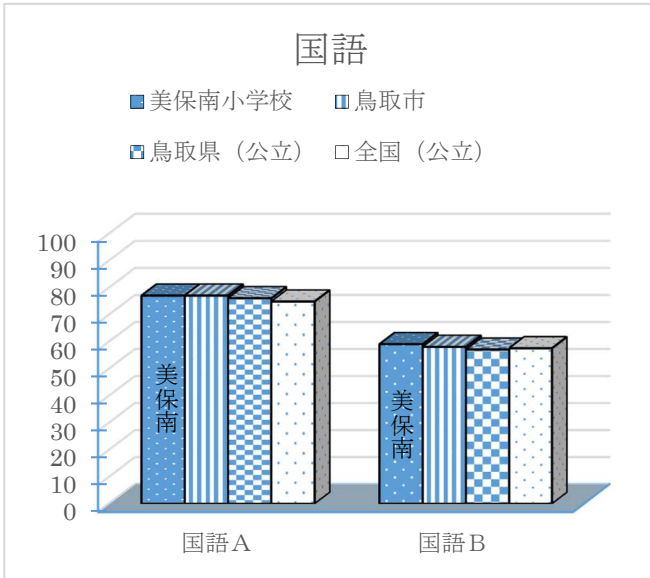


平成29年度 全国学力・学習状況調査結果について

本年度の全国学力・学習状況調査の結果の概要をお知らせします。この調査では、6年生を対象に教科（国語・算数）と質問紙による調査が行われました。結果を学校全体の傾向としてとらえ、子どもたちの良い点はさらに伸ばし、課題については改善に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

ご家庭でも、生活に関わる点につきましては、ご協力をよろしくお願ひいたします。

【教科について】



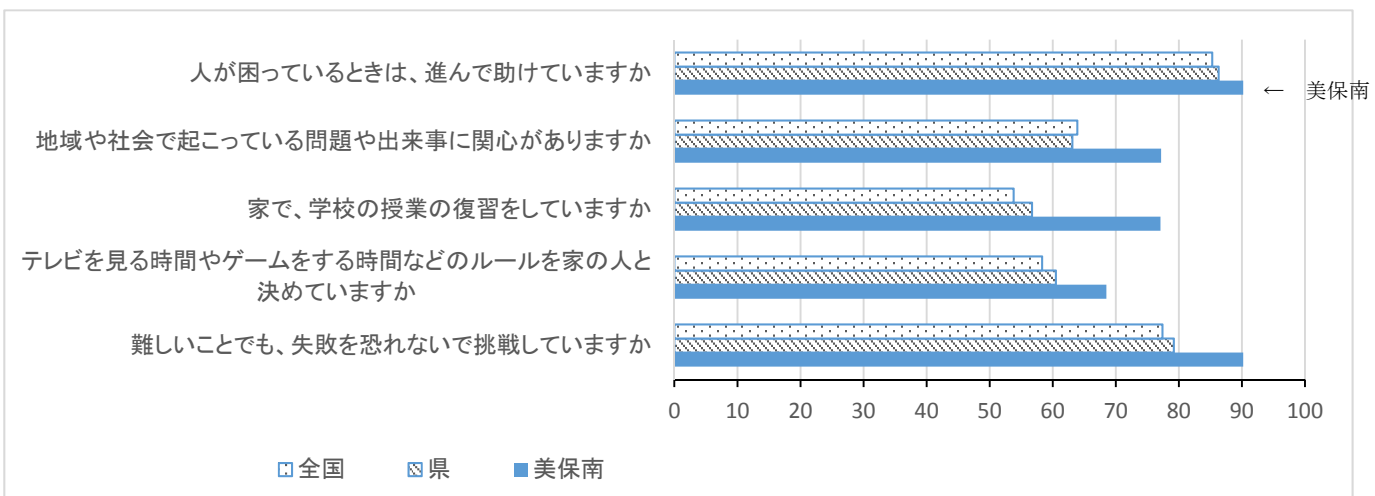
○平均正答率は、国語A（主に知識について）B（主に活用について）、算数A（主に知識について）B（主に活用について）とも市・県・全国の平均を上回る良好な状況でした。

○国語・算数の領域・評価の観点で市・県・全国の平均を上回る良好な状況にあるものがほとんどでした。国語の領域ではAとBの「書くこと」、算数の領域ではAの「量と測定」Bの「図形」が市・県・全国の平均を下回りました。

【質問紙調査について】 児童の学習習慣や生活習慣などに関する質問

★美保南の子どもたちの良いところ（主なもの）

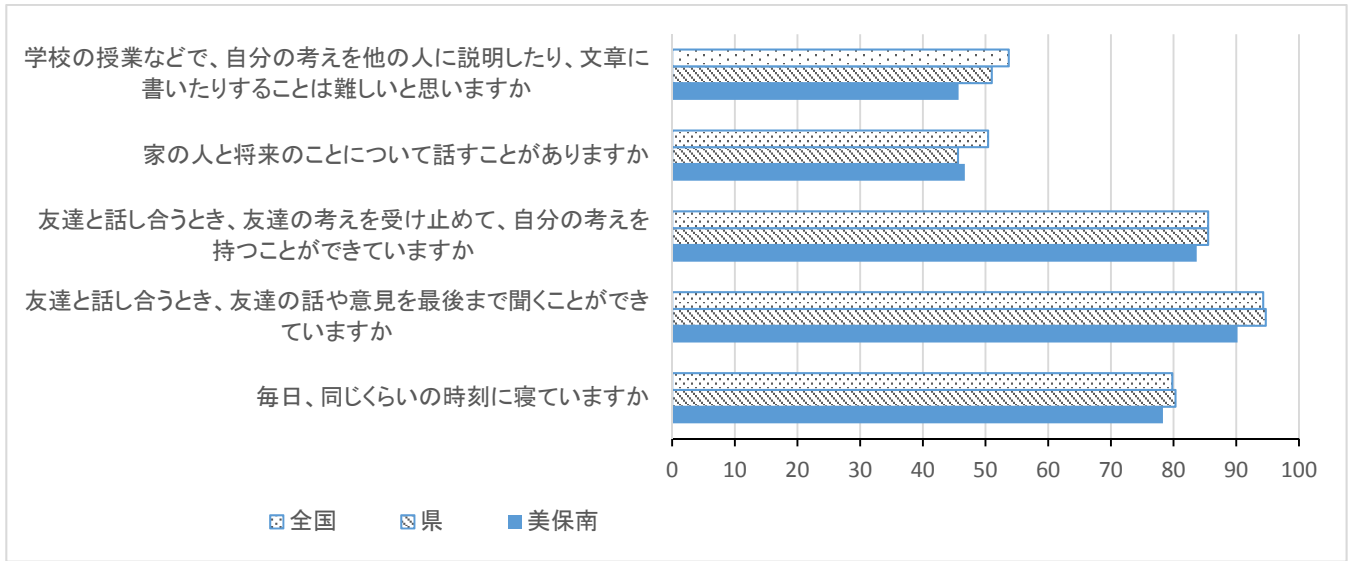
※肯定的な回答（あてはまる、どちらかといえばあてはまる）の%



- ・ふだんの生活の中で、相手の気持ちを考えて行動でき、とても望ましい傾向にあります。
- ・地域や社会の一員としての意識が高まっており、地域の行事にも積極的に参加している様子が見られます。
- ・家庭でも復習等に計画的に取り組む、家庭学習のよい習慣が定着している子どもが増えています。

- ・地域や家庭においても約束を守りながら、節度ある生活ができていると思われます。
- ・めあてを持って進んで学習に取り組んだり、前向きに生活したりしている姿をうかがうことができます。

★これからよくしていきたいところ（主なもの）



- ・自分の考えを話したり文章に書いたりすることに苦手意識を持っている子どもが半数以上います。国語AおよびBの問題で「書くこと」に課題があることに関連があるようです。
- ・将来についての明確な目標を持つことで、家の人と将来のことについて話をする時間が増えてくるのではないのでしょうか。
- ・学校での学習の際に、友達の話をしっかり聞き、自分の考えを持つことができるよう授業の工夫が求められています。
- ・規則正しい生活をするにより、学校生活もさらに活力あるものになっていくと期待しています。

《結果を受けて》

学校では次の点について力を入れています。

◆自ら課題を持ち、進んで考える学習の充実

学習課題を子どもたちとともに作り、進んで考え、伝え合いながら考えを深めていくような授業づくりに努めています。

◆基礎基本を大切に学習指導

毎日のチャレンジタイム（5校時前の帯の時間）で計算・漢字等のスキルアップを図っています。

◆魅力ある授業の工夫

子どもたちが進んで学びたいと思うような導入の工夫をしたり、実験や体験的な活動を盛り込んだりすることで、「よし、わかった。」「面白いな。もっと調べたいな。」と思える魅力ある授業展開の工夫をしています。

◆家庭学習の習慣化・質の向上

「家庭学習のてびき」を生かして家庭学習の習慣化を図っています。先日の家庭学習がんばり週間もその一環です。また、学年に応じて自主学習ノート等を中心とした自主学習の指導を行っています。

ご家庭では・・・

◇お子さんとの会話を大切に

⇒お子さんの話をしっかり聞いて、もっと話したいという意欲にかなげたり、子どもなりに考えていることについて認めたりしてみましょう。

◇社会への関心が広がるように

⇒新聞やテレビなどのニュースを話題に挙げてみましょう。

◇よい生活習慣の定着を

⇒朝食を食べる・早寝早起きをする・決まった時刻に決まった場所で決まった時間以上学習するなど環境を整えましょう。お子さんの学習の様子に関心を持ち、努力を認めていきましょう。